



「阪神・淡路大震災」から四半世紀

平成七年一月十七日、阪神地域に壊滅的な被害を与え、四千六三四名の命を奪い、負傷者が約四万四千人にも及んだ「阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）」から、早や二五年（四半世紀）が経過しました。戦後に発生した地震災害としては、（その後に発生した東日本大震災までは）最も大きな最悪の被害を与えた地震でした。

一五年を経た当日に、地震が起きた時刻を中心に各地で追悼の行事があり、多くの人が祈りを捧げている姿が報じられるのを観て、共感された方もおられることと思います。

一五年が経過して街の姿はすっかり変わり、震災を知らない世代も増えていますが、忘れてはならない出来事として、心に留めておきたいものです。

その後も、新潟県中越地震や東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、熊本地震、北海道胆振東部地震など大きな地震が発生しています。また、南海トラフを震源とする巨大地震がいつ発生してもおかしくない確立まで高まっていると言われています。台風や豪雨による災害の心配もあります。何のまえぶれもなく突然に襲ってくる地震にも備えて、いざという時にどういう行動をとれば良いのか、日常から考えておきましょう。



阪神・淡路大震災が契機になったこと

- ボランティア元年
- 震度階級に「5強」などを新設
- 東京消防庁にハイパーレスキュー創設
- 災害派遣医療チーム（DMAT）発足
- カセットコンロ・ガスボンベの規格統一
- 水道レバーが「下げ止め式」に
- 地震保険が普及する

「京都大河ドラマ館」がオープン

亀岡にゆかりのある「戦国武将 明智光秀」を主人公にしたNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映が、一月十九日から始まったことに合わせて『麒麟がくる 京都大河ドラマ館』がJR亀岡駅北口に竣工した「サンガスタジアムby京セラ」内にオープンしました。

広さ約520平方メートルの館内では、ドラマの世界観を伝える展示や体験に加え、光秀と亀岡・京都の関係性、歴史を多角度から紹介しています。館内に入ると、キャスト・スタッフの紹介やオープニング映像のメイキングシアター、ドラマのパネルや衣装、小道具、美術関係の備品が並びコーナーが続きます。廊下にはドラマの写真好パネルが展示され、キャストのサインやメイキングシアターでの映像の放映、360度パノラマ映像や顔ハメパネルなど体験コーナー、等身大パネルとの撮影コーナーなど盛りだくさんドラマの内容を伝えていきます。

また、特別展示「光秀は、何者か！」コーナーも設置。出口横には「光秀大河物産館」が併設され、地元の特産品や光秀、大河関連グッズの購入も楽しめます。

開館時間は、9～17時。
入場料は、大人600円。小中学生300円。
亀岡の新たな観光スポット「京都大河ドラマ館」へ皆さんも訪ねられてはどうでしょうか。



災害復旧工事にご理解をお願いします

一昨年の豪雨で被災した個所の早期復旧を要望していく中で、特に被害が大きかった千ヶ畑川では、四十箇所にも及ぶ護岸崩落があるため、三工区に分けて、今年中に集中して復旧工事を進めてもらうことになりました。

工事実施に伴い、多数の関係車両が行き来しますがご理解・ご協力をお願いします。

西部地区合同人権研修会を開催します

既に組回覧でご案内していますが、西部地区の人権研修会を二月二十二日（土）に開催します。「人権研修」というと、何かと難しくと捉えがちですが、貧困や格差の拡大に伴う問題や社会的に弱い立場に置かれた高齢者や子ども、障害のある人への虐待や差別が大きな社会問題として取り上げられています。また、SNSを悪用した犯罪や人権侵害などの事例も多く発生しています。一年に一度の研修会です。各組織のリーダーの方には個別に案内もさせていただきます。お待ちしております。町民の皆さま多数の参加をお待ちしております。

○開催日時 二月二十二日（土）
午前十時三十分から正午まで

○開催場所 京都・畑河 多目的ホール

○対象者 どなたでも参加できます

○研修内容 講演 人権問題の解決を目指して
講師 明石 一朗（関西外大教授）

当面の行事予定

- 二月二日（土） 西部同推協 人権研修会
- 二月三日（日） 京都スタジアムJリーグ開幕戦
- 三月 一日（日） 春の火災予防非常招集訓練
- 三月十三日（金） 育親中学校卒業式
- 三月十四日（土） 自治会常任委員会
- 三月二一日（土） 本梅保育所卒業式
- 三月二三日（月） 畑野小学校卒業式